

経営比較分析表

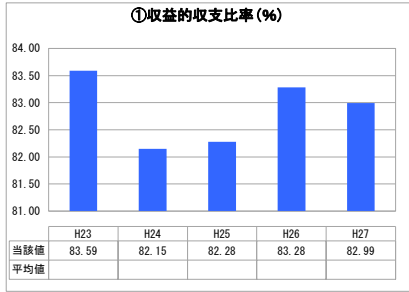
北海道 月形町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.31	94.76	4,579

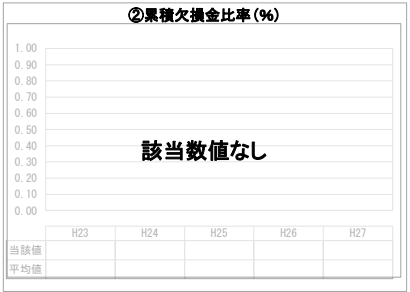
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,493	150.40	23.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,843	1.57	1,173.89

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

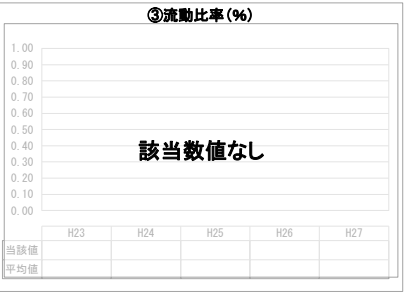
1. 経営の健全性・効率性



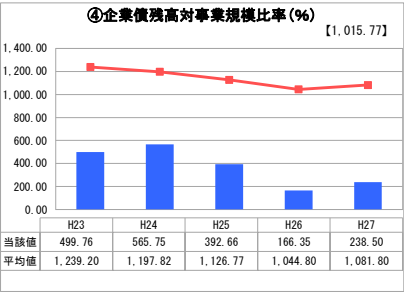
「単年度の収支」



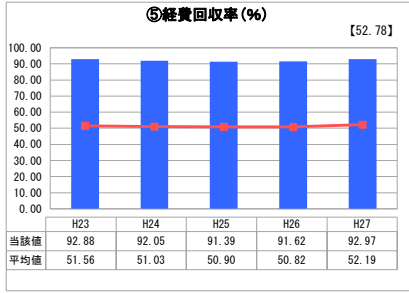
「累積欠損」



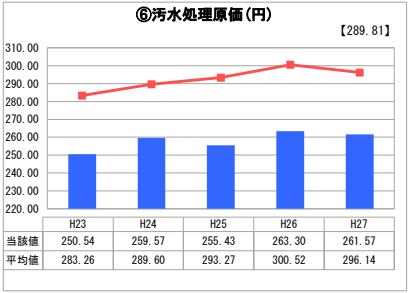
「支払能力」



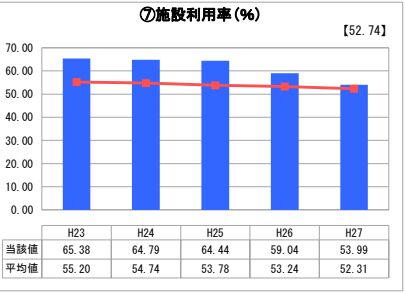
「債務残高」



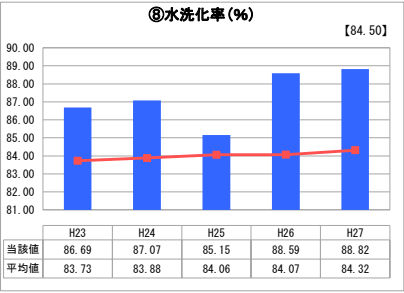
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

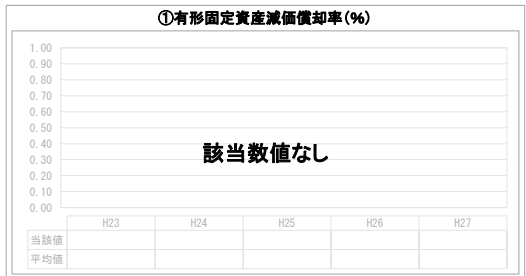


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

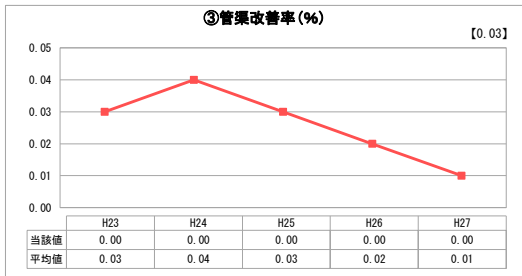
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①約83%の数値を推移しているが、資本費平準化債を活用して一般会計からの繰入金を抑えている状況である。
④類似団体と比較して低い数値で推移している。
⑤類似団体と比べて高い数値で推移しているものの、100%を下回っているため、使用料収入以外に依存しているといえる。
⑥類似団体と比較して、低い数値で推移している。
⑦類似団体と比較して高い数値で推移しているが、右肩下がりとなっている。今後も数値が低下傾向であれば、処理能力の規模縮減や施設の統廃合など、再編を計画する必要がある。
⑧類似団体と比較して、高い数値となっており、今後も水洗化率の向上に向けての取り組みが必要となる。

2. 老朽化の状況について

③類似団体の平均を下回っている。

機械・電気施設について、耐用年数を迎えており、更新が必要になる。管渠については、法定耐用年数が経過するまで期間があるものの、劣化状況を把握して更新時期を分散していく必要がある。
平成29年度から平成30年度にかけて、機能診断の実施及び最適整備構想の策定に取り組む予定であり、この結果に基づいて、計画的な更新を行う。

全体総括

全体的に類似団体に近い経営ができていている。水洗化率が高く、処理原価も低く抑えられているが、人口減や節水傾向により施設利用率は低下傾向にあり、経営の改善を図るためには処理能力・施設規模の縮減について検討していく必要がある。
施設等の老朽化については、機能診断及び最適整備構想の策定によって把握する予定であり、これらの結果に基づいて計画的かつ効率的な更新に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。